

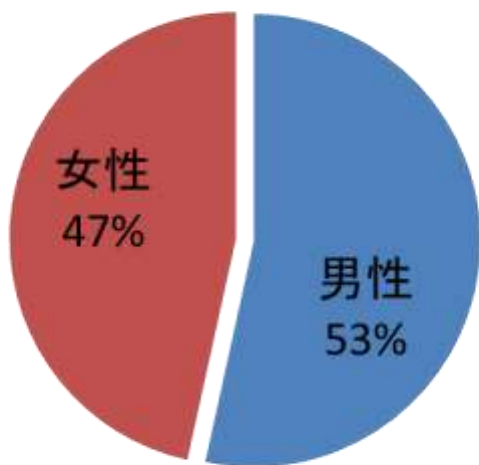


耳下腺腫瘍診療の現況

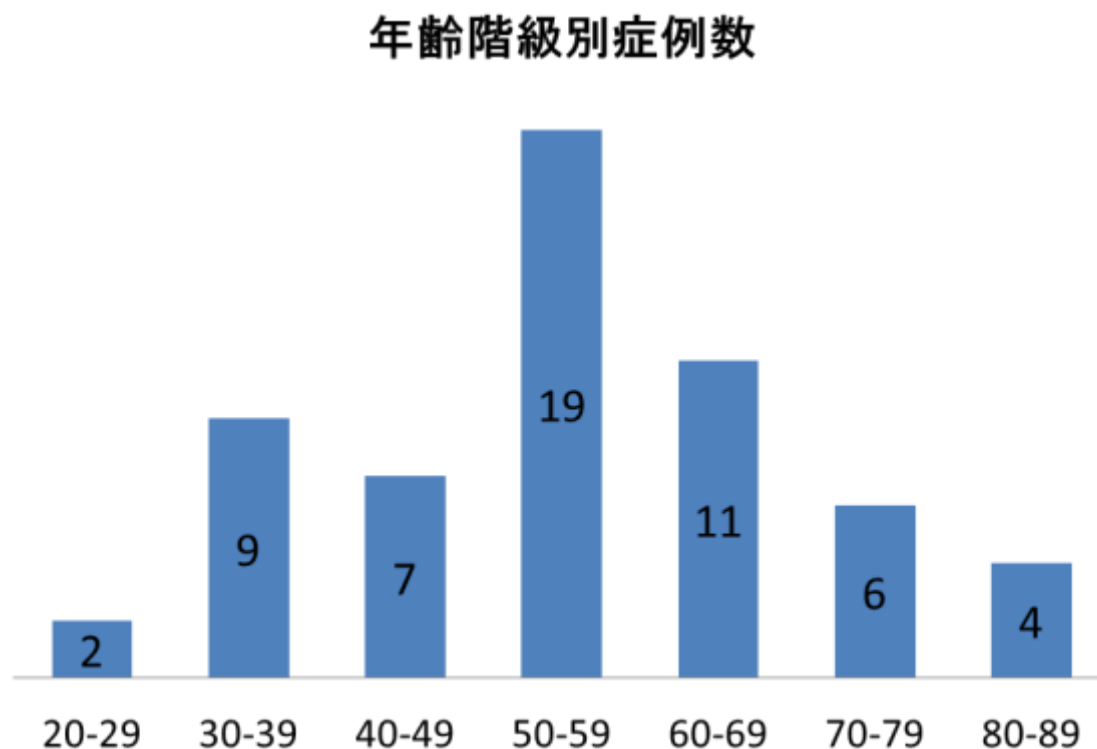
厚生連高岡病院耳鼻咽喉科

西村 俊郎

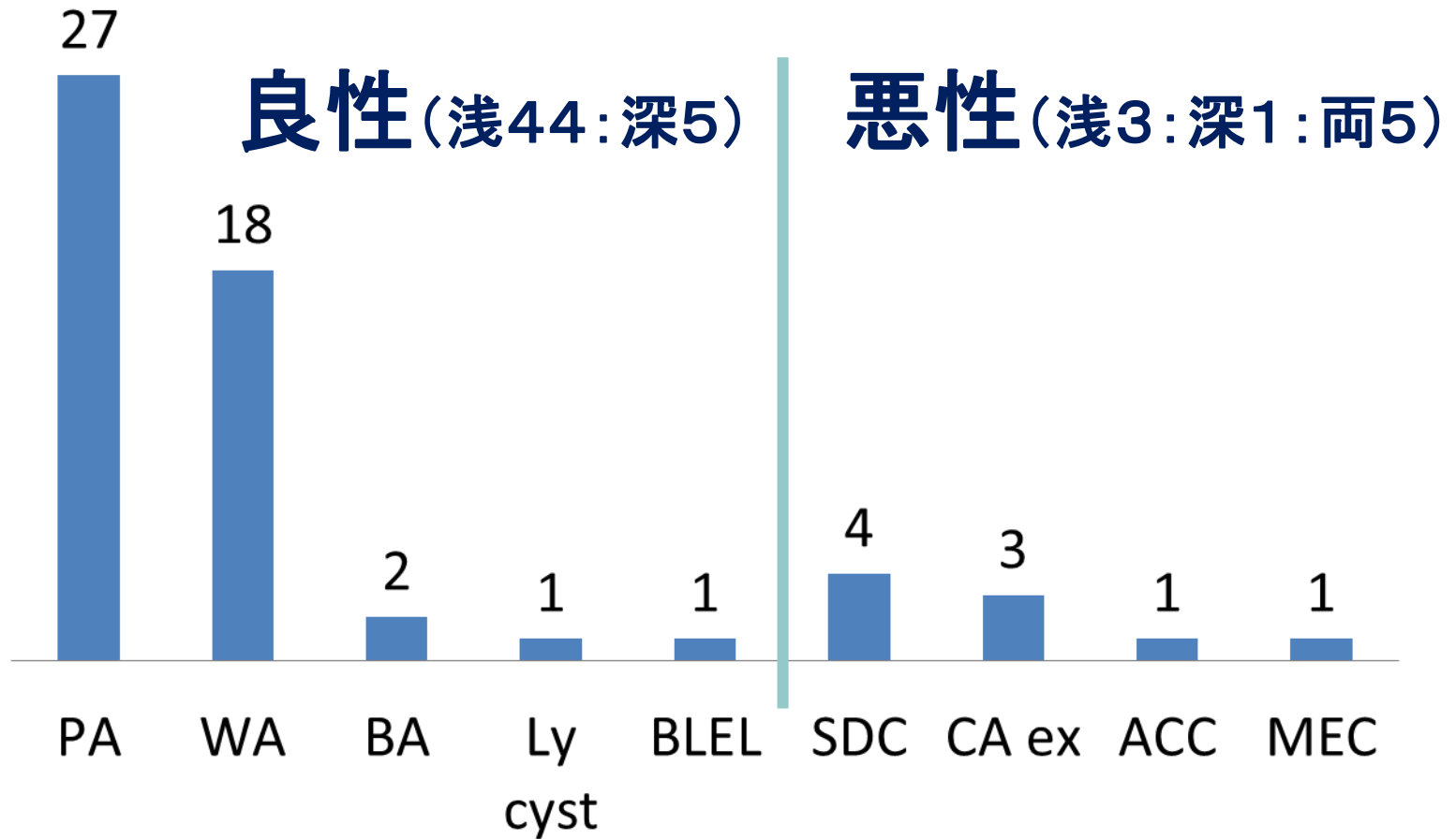
耳下腺腫瘍症例の性別、年齢分布 (厚生連高岡病院 過去6年間)



全58症例
男性31例、女性27例
年齢24-85歳
(中央値56歳)



組織型別症例数



PA 多形腺腫

WAワルチン腫瘍

SDC導管癌

CAex 多形腺腫由来癌

良性腫瘍での術後顔面神経麻痺

退院時のスコアで 中枢法43例 末梢法6例

	良性49症例中	%
麻痺なし	38	78
36-38点	7	14
それ以上	4	8

ほぼ全例で退院後回復
最終観察で軽い口角の
麻痺遺残の記載が2例

その他 唾液ろう2例
皮弁小壊死 1例

悪性腫瘍術式について

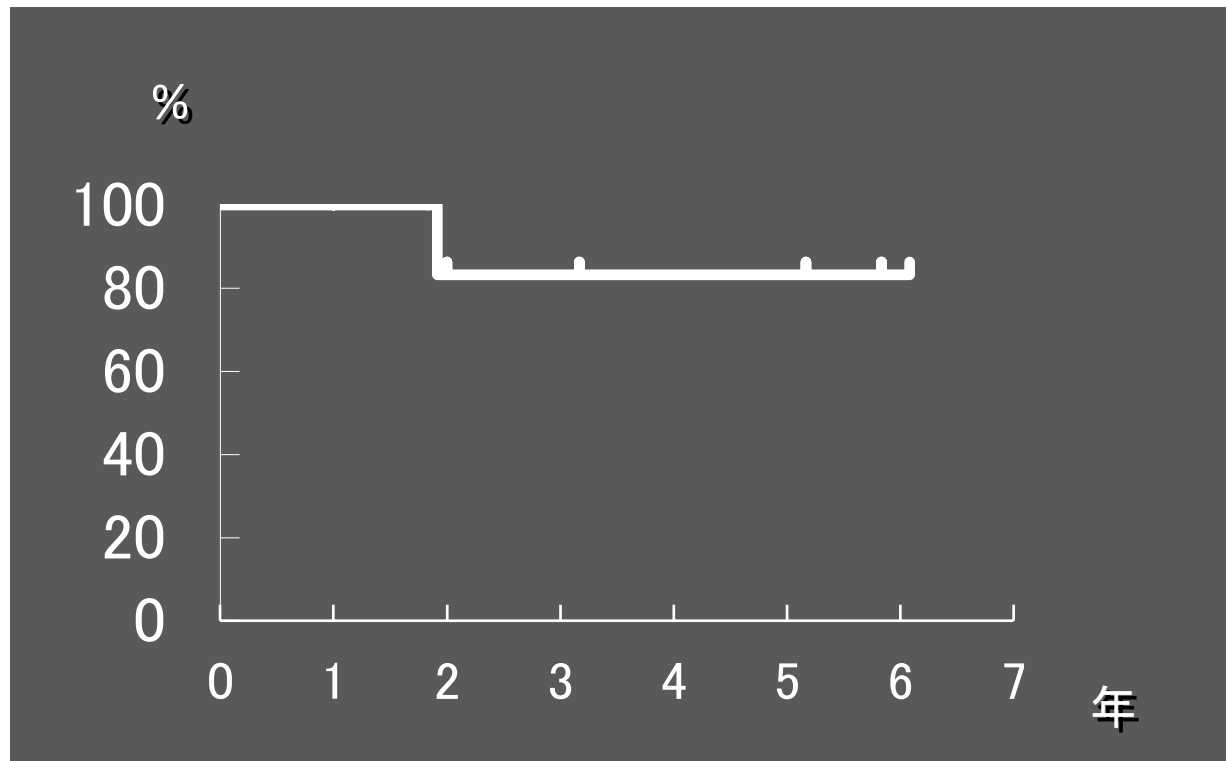
男性 3例
女性 6例
年齢56-85歳(77歳)

組織型
SDC 4
Ca ex PA 3
MEC 1
ACC 1

術式	
浅葉摘出術	3
深葉摘出術	1
全摘(顔神温存)	3
全摘(顔神切除、再建)	2

悪性腫瘍生存曲線

生存期間
12月—73月
中央値24月
無病生存 7例
担癌生存 1例
死亡 1例
推定3年生存率
83%



悪性腫瘍での顔面神経麻痺

退院時のスコアで

	悪性9症例中	%
麻痺なし	2	22
36-38点	5	56
完全麻痺 (再建あり)	2	22

手術時間と出血量

手術時間	中央値	分布	平均	標準偏差
良性(49)	93	30-189	98	38
悪性(9)	176	63-469	206*	134

出血量	中央値	分布	平均	標準偏差
良性(49)	20	10-150	38	34
悪性(9)	130	20-710	213**	270

同じ耳下腺腫瘍でも
良性と悪性では
全く異なる手術

P<0.05, *, **, Student's t-test



まとめ

- 当科における過去6年間の耳下腺腫瘍の診療を振り返りました。
- 腫瘍ごとの特徴をつかんで、基本に忠実な画像診断や細胞診をおこなっています。
- 良性腫瘍と悪性腫瘍は全く別の疾患と考えて術中に対応できるように準備しています。
- 最近ではNIMリスポンス3.0を用いた神経モニターリングで、さらに安全性を高めています。